

# 単元を貫く問いに基づく高校世界史授業

ー歴史アクティビティを活かしてー

M15EP001

石坂 隆至

## 1. はじめに

「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ（素案）のポイント」では、改訂の基本方針として、「何を学ぶか」という指導内容の見直しに加えて、「どのように学ぶか」「何ができるようになるのか」の視点から学習指導要領を改善することが示されている。その中の「どのように学ぶか」では、「主体的・対話的な深い学び」の視点から、学習過程を改善することとされている。その方略としてのアクティブラーニング（以下 AL）が注目を集めている。

昨年度の研究では、世界史（歴史）を学ぶことは、教師から与えられた解釈（＝歴史事象）を覚えること、すなわち暗記するだけと思われていること、その一つの原因として、受験を意識した知識伝達型の授業が行われ続けてきたことに着目した。また、世界史授業へのALの導入が進んでいない理由として、大学入試対策の重視のために、時間の確保が難しい、ALの効果が不透明で実施する意義が見いだせない、何をしたいのかわからない等の理由が挙げられていたことにも着目した。そこで、それらを改善したいと考え、研究テーマを「アクティブラーニングを取り入れた世界史授業ー情報機器の効果的な活用を通じてー」とし、授業改善に取り組んだ（石坂、2015）。また、その際に ICT の効果的な活用方法についても併せて検証した。

その結果、ICTの活用はイメージがしやすいことや記憶の定着に一定の効果があることが認められた。また、ALを取り入れることは、学習意欲の向上、歴史的思考力を育成すること、知識の定着に効果がある点で有益であるというデータを得ることができ、効果が

期待できることがわかった。

しかし、ALの効果の検証は週1時間の授業においてであったため、継続してALを行うことでの効果は不明であったこと、ICTを使って1時間の授業を構成することは、準備するにあたり教員の負担が大きく、実施は可能ではあるが、毎時間行うことは現実的に難しいことなどが課題として残った。

筆者は世界史の授業を通じて、史資料を解釈して過去について考察するとともに、現在と過去の繋がりについて考察する歴史的思考力を生徒に培いたいと考えており、昨年度の研究の課題を踏まえつつ、今一度研究の方向性を再考した。

「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ（第2部）（国語，社会科，地理歴史科，公民科）」では、社会との関わりを意識して課題を追求したりする活動を充実し、知識や思考力を基盤として社会の在り方や人間としての生き方について選択・判断する力、自国の動向とグローバルな動向を横断的・相互的に捉えて現代的な諸課題を歴史的に考察する力を育むことを求めている。また、地理歴史科における目標の在り方では「公民としての資質・能力」を育成することを目指し、その資質・能力の具体を「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力等」，「学びに向かう力・人間力等」の三つの柱で示している。

これらのことも意識して、歴史的思考力の育成を目指し、生徒が実際に歴史的思考を行う活動を取り入れた、現実的に実施可能な授業設計と単元設計を行い、その効果を検証することとした。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、世界史の授業で、歴史的思考力を育成する単元設計と授業設計を考えることにある。それを通年実施し、その効果を検証する。

## 3. 研究の方法

実習校：山梨県立 N 高等学校  
実習期間：5 月～11 月（原則週 1 日）  
科目：世界史 B  
授業時間：50 分授業  
対象：2 年 2・3 組混合クラス

## 4. 単元・授業設計の基本方針

本研究の目標は、世界史の授業で歴史的思考力の育成を行うことである。歴史的思考力とは、(1) 過去にのこされた史料、過去についての現在の資料を解釈する史資料解釈を行うこと、(2) 歴史的な事象を関連づけ、過去について論理立てて述べる歴史記述を行うことを通じて、過去を理解することである。また、それだけではなく、(3) 過去と比較したり関連づけたりして現在を理解することも重要であり、これらを合わせて歴史的思考力ととらえる。その基本構造は図 1 の通りである。



図 1 歴史的思考力のイメージ

その育成のために、まず、1 つの問いについて取り組むためのまとまりとして、単元を

位置づける。すなわち、単元ごとにメインクエスト（以後 MQ）を設定することで学ぶ目的を明確にした。

それと同時に、生徒が歴史的知識を活用して取り組む歴史的思考の活動を重視するため、歴史的思考力を育成する活動である「歴史アクティビティ（Historical Activity）」（以後 HA）を毎時間取り入れた授業を設定した。HA には、主に 3 つのタイプがある。1 つ目は、「史資料解釈アクティビティ」で、過去にのこされた史料、過去についての現在の資料を解釈するものである。2 つ目は、「歴史記述アクティビティ」で、歴史的な事象を関連づけ、過去について論理立てて述べる（記述する）ものである。3 つ目は、「現在理解アクティビティ」で、過去と比較したり関連づけたりして現在を理解するものであり、これらを単元内に設定した。その際、大学入試対策上限られた授業時間で一定の内容を確実に網羅する必要があるゆえに、現実には実施可能な設計に重点を置き、教師による知識の教授と生徒による知識の活用とを結びつけることを強く意識した。

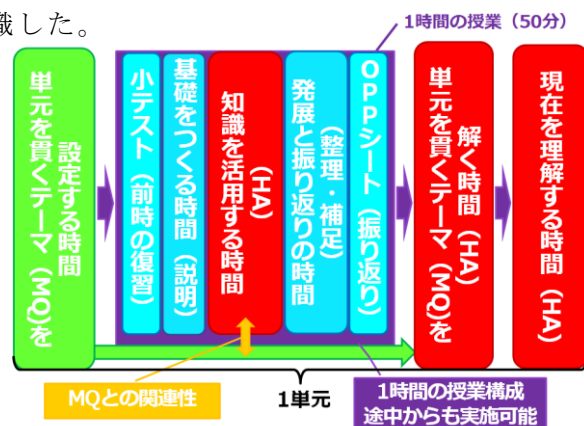


図 2 単元設計イメージ

以上に基づき、各単元では、図 2 のように、冒頭の「単元を貫くテーマを設定する時間」によって MQ を設定し「見通し」を行い、終末の「単元を貫くテーマを解く時間（HA）」によって振り返りを行い、さらに、「現在を理解する時間（HA）」で学習成果を活かす構成

とした。

また、各時間では、前時の復習小テストの後、授業開始前にMQとHAを確認して「見通し」をつけ、教師主導の「基礎をつくる時間」、生徒主体の「知識を活用する時間(HA)」を設け、さらに、「発展と振り返りの時間」をおき、最後にOPPシート記入の時間で「振り返り」を行った。このような小テストからOPPシート記入までを基本単位として、これを繰り返すことで単元を展開させた。「見通しと振り返り」は、自主的に学ぶ態度を育むこと、学習意欲を向上させることにつながり、また、事前に見通しを立てたり、事後に振り返ったりすることで学習内容の確実な定着が図られ、思考力・判断力・表現力の育成にもつながるとされており（大分県教育委員会HP）、授業・単元設計においてこのサイクルを組み込んだ。

以上を基本方針とし、年間を通じて実践し、アンケート結果や生徒のOPPシートの記述内容、定期テスト記述問題の回答結果や記述などから、その効果を検証する。

## 5. 具体的な単元・授業設計

図2の単元設計イメージに沿って、実践したイスラーム単元（前半）を例に挙げながら詳細を説明する。

### （1）単元を貫くテーマ（MQ）を設定する時間（50分）

単元を貫くテーマへ辿り着くための時間である。生徒自身が、テーマを設定できることが望ましいが、高校で世界史を初めて学ぶ生徒の知識は、皆無または断片的であり、先を見通して単元を貫くテーマを設定することは困難である。ゆえに、教師が主導し、予定したテーマに行きつくような史資料を使い、MQを設定した。

また、「単元を貫くテーマ（MQ）」を設定した後は、毎回プリントに明示すると共に授業の冒頭で必ず触れることで、「見通し」を持

って授業に参加できるようにした。プリントの表面は、イスラームについての知識について問い、興味・関心を高めると共に、裏面では6世紀と7世紀のアラビア半島の地図を比較し、「なぜ小さな宗教集団（イスラーム教）は巨大な帝国を築くことができたのか」をMQとして設定した（図3）。

### 「単元を貫くテーマ設定（表面）」

### 「単元を貫くテーマ設定（裏面）」

図3 単元を貫くテーマ設定プリント

### （2）小テスト（5分）

石坂（2015）で述べた通り、授業以外で世界史学習をほとんどしていないため、復習の機会を設けた。前時の終わりに、出題箇所（重要な箇所）を伝達しておき、出題は口頭で前時の流れを確認しつつ、5問程度出題する。知識の定着を図り、復習を習慣化することで、受験にも対応させた。また、満点を取らせることが重要であり、達成感を感じることで意欲を高めることが期待できる。

### (3) 基礎をつくる時間 (20～25分)

授業の開始前にプリントの冒頭に明記されている MQ を必ず確認し、本時の HA を予告してから説明に入る。そうすることで「見通し」を持って授業に臨むことができる。

生徒は世界史の知識はほとんどないため、受験へ対応可能とするためには、基礎をつくる必要があり、教科書内容の説明は必須である。ゆえに、知識を教授する時間を授業の前半で確保する。従来の授業より、説明時間が少ないため、重要ポイントを重点的に説明しつつ、教師の話す時間が長くないよう、精選された説明が必要である。また、そのために ICT 活用が有効であり、史資料の提示、地図の確認などに活用する (図 4)。

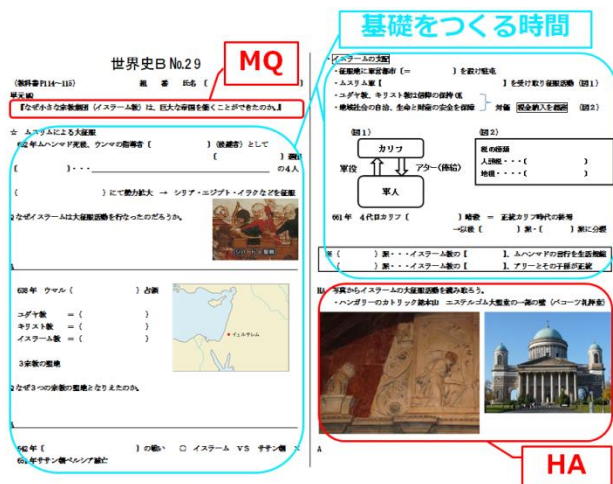


図 4 授業プリント

### (4) 知識を活用する時間 (HA) (10分)

毎時間必ず HA (史資料解釈アクティビティ、歴史記述アクティビティ) を行う。その際、テーマは本時の「基礎をつくる時間」で学んだ知識を活用するものとなるように心がける。その際、できるだけ MQ に関連するものとなるようにすることが重要である。

HA 後は、必ずペアないしグループで考えたことを共有する。そうすることで、多様な考え方に触れることができ、新しい視点や考え方を得ることができる。表 1 はイスラーム単元で行った HA の一覧である。

| 単元         | 時数 | プリント No. | HA 内容                                            |
|------------|----|----------|--------------------------------------------------|
| イスラーム (前半) | 1  | 27       | MQ の設定『なぜ小さな宗教集団 (イスラーム) は、巨大な帝国を築くことができたのか』     |
|            | 2  | 28       | なぜイスラームはアラブ人に受容されたのか、地図と時代背景から考えてみよう。            |
|            | 3  | 29       | 写真から大征服活動を読み取ろう。(教会内のレリーフから何が読み取れるか。)            |
|            | 4  | 30       | なぜ首都バグダードはこの場所につくられ、円形なのか考えてみよう。                 |
|            | 5  | 31       | MQ『なぜ小さな宗教集団 (イスラーム) は巨大な帝国を築くことができたのか』について考えよう。 |
|            | 6  | 32       | イスラーム世界の女性について考えよう。(ブルキニを着用することは許されないのか。)        |
| イスラーム (後半) | 1  | 33       | MQ の設定『なぜカリフの権威は低下したのか』                          |
|            | 2  | 34       | なぜカリフはマムルーク (トルコ人奴隷) を重用したのか。                    |
|            | 3  | 35       | イクター制のメリットとデメリットを考えよう。(イクター制が与えた影響は何か。)          |
|            | 4  | 36       | 絵画から読み取ろう。(十字軍とイスラーム軍の絵画を比較し、その違いは何か読み取ろう。)      |
|            | 5  | 37       | なぜ神との一体感を求めたスーフィズムが広がったのか。                       |
|            | 6  | 38       | マンサムーサがイスラーム世界に与えた影響は何か。                         |
|            | 7  | 39       | MQ『なぜカリフの権威は低下したのか』について考えよう。                     |
|            | 8  | 40       | イスラーム世界のスンニ派とシーア派の関係は、現代世界にどのような影響を及ぼしているか。      |

表 1 イスラーム単元 HA 一覧表

その中で、プリント No.29 で行った HA を例にあげる (図 5)。

キリスト教の教会内レリーフの写真から、顔が削られていることに着目し、イスラームの特徴である偶像崇拝の禁止を読み取り、大征服活動中にイスラームが支配下においた教会を使用していたことに気付くことを目標とした。生徒は次の記述のように、学んだ知識を活かし、イスラームの特徴をとらえることができた。



- ・写真からイスラームの大征服活動を読み取ろう。  
(教会内のレリーフから何が読み取れるか)
- ・ハンガリーのカトリック総本山  
エステルgom大聖堂の一部 (バコーツ礼拝堂)

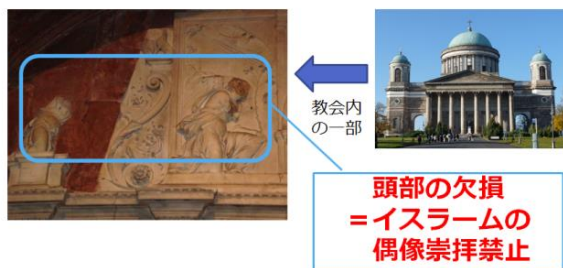


図5 HA部分の拡大図

生徒の HA 記述

- ・上半身が欠損している (男子生徒 A)
- ・顔がないのは、イスラームは偶像崇拝してはいけないから。(女子生徒 B)

#### (5) 発展と振り返りの時間(5～10分)

HA 終了後、整理や補足を行う。関連することをとり上げて補足することで、知識の定着や深化が期待できる。そのために、プリント No. 29 の HA に関しては、ハギア＝ソフィア大聖堂を例に挙げた(図6)。内装に注目するとアラビア語がかかかれているが、天井にはキリスト教のモザイク画が見え、イスラームがキリスト教の教会を利用していたことがわかる。このように、HA で行ったことと類似した例を挙げたり、関連性があることを例に挙げて整理する。

#### 発展と振り返りの時間

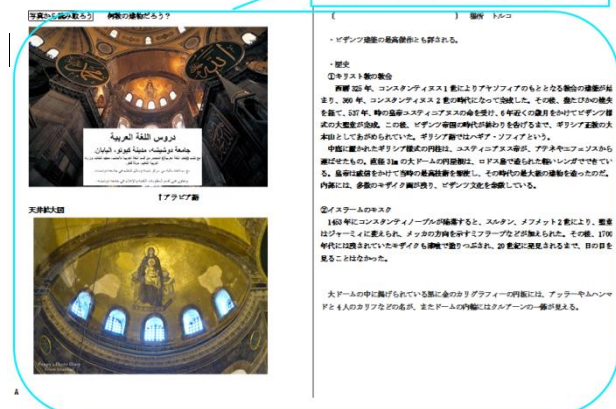


図6 発展と振り返りの資料

#### (6) OPP シート(振り返り)(5分)

授業の終わりに、OPP シートを記入させることで「振り返り」をさせる(図7)。これにより、生徒自身が本時の学びを整理できる。また、記述から生徒が授業を通じて何を感じ、考え、疑問に思ったのか把握できると共に、次回実施の改善点を把握することができる。また、単元の始めと終わりの記述からは、生徒の変容をみとることができる。

図7 OPPシート

#### (7) 単元を貫くテーマを解く時間(50分)

単元終了時、設定したテーマ(MQ)を1時間かけて解く(歴史記述アクティビティ)。その際、個人思考の後、グループワークを行い、お互いの意見を共有すると共に、グループの意見として集約して発表することで、クラス全体で共有することを原則とした。難易度が高いため、記述させる際は、ヒントを与え、ステップアップ方式で記述させるプリント図8を作成し、実施した。

ステップ1では、5つの記述ポイントを示し、単元内の該当する箇所を抜き出させる。ステップ2ではそれを元に自分の言葉で文章化させ、考えを整理させる。ステップ3では、グループをつくり、お互いの考えを発表し合い、共有すると共に、グループでの答えをホワイトボードに記入する。それを発表し、クラス全体で共有すると共に、新しい考えをステップ4に記入する。

## 「単元を貫くテーマを考える時間（HA）」

世界史B №31  
題 名 ( )  
著 者 氏名 ( )  
『なせ小さな宗教戦争 (イスラーム版)』は、巨大な戦争を避けたことができたのか』

さて、イスラームの経緯はここで済みます。この後、この戦争で学んだことを整理して、第2回HAで考えてみましょう。各グループで考えてください。考えを (表裏) に記入してください。

① どのポイント (視点) を取り上げるか  
② イスラームの経緯をどうまとめるか  
③ イスラームの経緯をどうまとめるか  
④ 自分たちの考えをどうまとめるか

⑤ ステップ1  
⑥ 各グループの考えをどうまとめるか  
⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

**ステップ1**  
①～③のヒントをもとに授業プリントから該当箇所を見つけて記述する

**ステップ2**  
ステップ1をもとに自分の言葉で文章化

**ステップ3**  
グループで共有後、グループとして文章にまとめる

**ステップ4**  
他グループの意見を記入し、自分たちの意見を振り返る

図8 「単元を貫くテーマを考える時間（HA）」のMQ回答プリント

## （裏面）

① イスラームの経緯をどうまとめるか  
② イスラームの経緯をどうまとめるか  
③ イスラームの経緯をどうまとめるか  
④ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑤ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑥ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑦ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑧ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑨ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑩ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑪ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑫ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑬ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑭ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑮ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑯ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑰ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑱ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑲ イスラームの経緯をどうまとめるか  
⑳ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㉑ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㉒ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㉓ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㉔ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㉕ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㉖ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㉗ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㉘ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㉙ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㉚ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㉛ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㉜ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㉝ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㉞ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㉟ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㊱ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㊲ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㊳ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㊴ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㊵ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㊶ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㊷ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㊸ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㊹ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㊺ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㊻ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㊼ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㊽ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㊾ イスラームの経緯をどうまとめるか  
㊿ イスラームの経緯をどうまとめるか

図9 現在を理解する時間のプリント

## 6. 結果と考察

7月と1月の2回、研究について、質問紙によるアンケートを実施し、その回答から分析した。また、第2回、第3回の定期試験の記述問題やOPPシートから歴史的思考が深まっているか検証を行った。

### （1）アンケート結果から

「HAについて最も近いものは何ですか。」との問いに対し、全員が1, 2を選択しており、生徒の記述からもHAに対し肯定的に捉えていることが伺える。また、1月の方が「とてもよい」が増加しており、回を重ねるごとに生徒がその意義を理解しつつあることが推察される（表2）。

アンケート結果と分析（2年2・3組 18名 7月・1月実施）

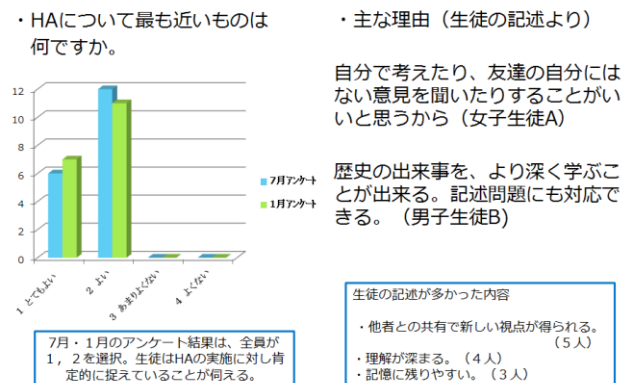


表2 HAについて最も近いものは何ですか

「単元を貫くテーマ（MQ）を設定することについて、最も近いものはどれですか。」との問いに対し、7月には「わからない」と答えていた生徒も、1月では全員が1，2を選択した。また、7月と比較しても、「とてもよい」が増加しており、多くの生徒がその良さを実感していることがうかがえる（表3）。

アンケート結果と分析（2年2・3組 18名）

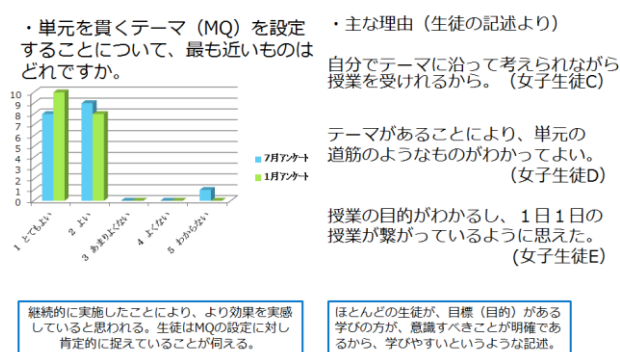


表3 単元を貫くテーマ（MQ）を設定することについて、最も近いものはどれですか

「HA を行うメリットは何だと思いますか。」との問いに対し、「多角的な視点を培える」が31％と最多であり、次に多かったのは「知識の定着につながる」の27％であった。生徒はHA 場面のことを思いだしたりすることで、関連する知識も思い出すと述べており、HA は知識の定着にも貢献している可能性がある（図10）。

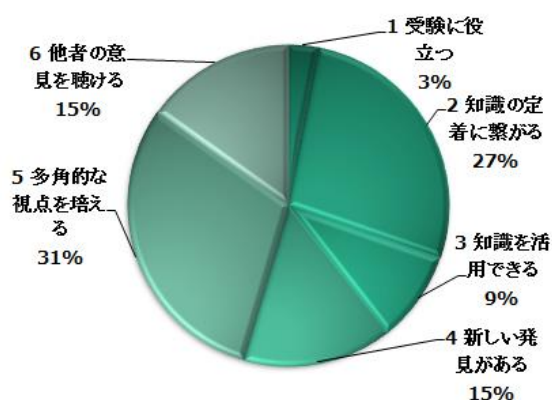


図10 HA を行うメリットは何だと思いますか（2つを選択）

「以前より歴史の勉強は大切だと思うようになりましたか」との問いに対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と全員の生徒が回答した（図11）。これは、暗記科目という生徒の意識が変化しつつあり、HA や MQ がその役割を果たしていることが考えられる。また、記述からも歴史を学ぶ意義を感じていることが推察されており、今後の励みとなる結果となった。

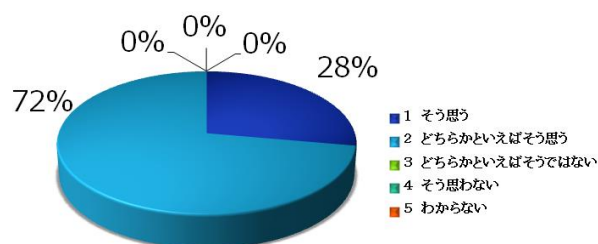


図11 以前より歴史の勉強は大切だと思うようになりましたか

#### 単元を終えての感想より

- ・過去は大事で歴史を学ぶということは、私たちのイメージや考えも変わるのでしっかり学ぶべきだと思う。
- ・イスラーム教がこんな奥が深いものだと正直思っていませんでした。最近できた危ないことをする人達と勝手に決めつけて偏見を持っていた自分が恥ずかしくなりました。

## （2）定期テストと OPP シート記述から

定期テストの記述からも変化をみとることができる（表4）。第2回、第3回の定期テストを比較すると、ほぼ全員が記述問題に回答するようになっており、誤答者数が激減している。完答（満点）ではないにしろ、部分点をとる生徒が増加したことを表している。毎回 HA を行う中で、知識を活用することと自分の考えを記述することに慣れたことが要因であると考えられる。発展問題の初見の問題に対しても、5名が完答しており、問題と学んだことを結びつける力がついてきている様子が伺える。



| 参考      | 解答記述者数 | 誤答者数  |
|---------|--------|-------|
| 第1回定期試験 | 15/18  | 10/18 |

#### 基礎問題 (授業でプリントに書いたものと同一問題)

|         | 解答記述者数 | 誤答者数  |
|---------|--------|-------|
| 第2回定期試験 | 13/18  | 13/18 |
| 第3回定期試験 | 18/18  | 5/18  |

#### 応用問題 (授業で学んだことを結びつける力が必要な問題)

|         | 解答記述者数 | 誤答者数  |
|---------|--------|-------|
| 第2回定期試験 | 13/18  | 11/18 |
| 第3回定期試験 | 17/18  | 5/18  |

#### 発展問題 (初見で授業で学んだ知識を活用して解く問題)

|         | 解答記述者数 | 正答者数 |
|---------|--------|------|
| 第3回定期試験 | 16/18  | 5/18 |

生徒数 18名

※誤答者とは0点 (部分点なし)

表4 定期テスト記述問題の変化

OPP シートからも生徒の変化をみとることができる (表5)。授業の前と後を比較すると、多少の間違いはあるが、学んだことをまとめた記述ができるようになっており、歴史的思考力を育成することができていることが推察される。

#### Qイスラームについて知っていることは？

| 単元開始前の記述                                                                                                 | 単元終了後の記述                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISが生まれた？</li> <li>・イスラーム教</li> <li>・メッカ (!) がある</li> </ul>       | <p>アラブ人はどこにも属さずにいた土地で、ビザンツとササン朝の戦いを身近にみている。その時、ムハンマドがイスラーム教をつくり、従来の多神教を否定し、アッラーが絶対の力をもつ一神教を肯定した。自らを預言者と呼んだ。ムハンマドが亡くなってから、5人の正統カリフが継いでいったが、いずれも暗殺される等、不安定な状況だったと思う。その中で、支配を広げていき、ジズヤやハラージュの税を取り、宗教は自由という寛大な支配方法であった。とても広大な領域を支配していて、イスラーム教の正統派はスンナ派とされていた。 *下線は間違い</p> |
| <p>分析：授業前はほとんど知識がなく、断片的な知識が少しある状態である。授業後は、少々の間違いはあるものの、イスラーム史の流れを理解し、自分なりの言葉でイスラームについて記述できるようになっている。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                       |

表5 単元前後の記述比較

## 7. 成果

今回の研究成果として、以下の6点を挙げることができる。第一に、生徒が知識を活用して、歴史的思考に取り組み、自分なりの考えを持つことができるようになりつつある。第二に、生徒はHAを通じて、他者の考えや意見を共有することが、視野を広げることにつながっていることを実感している。第三に、

OPP シートや定期テストの記述問題などの記述量が増えた。(考えをまとめ、表現することができるようになりつつある。) 第四に、単元という単位でまとまりある授業ができている。(見通しと振り返りを組み込んだ設計ができている。) 第五に、無理のない現実的 (実施可能) な授業改善ができている。第六に、生徒が歴史を学ぶことの意義に気づきはじめてことである。

## 8. 課題

今後の課題としては、以下の3点が挙げられる。第一に、各時間のHAの改善。HAをMQとより明確に関連づけることが必要である。また、時間内で収まる、生徒の思考が及ぶテーマ設定を行う必要があり、質の向上をしていく必要がある。第二に、「基礎をつくる時間」は教師の説明に留まりがち。生徒には既有知識がなく、知識を教授することは必須であるが、生徒がより主体的に学習できる方法を検討する余地がある。第三に、知識を活用し、表現する力の向上。定期試験ではHAの類似問題は記述できるが、初見の資料に対して、学んだ知識を応用して解く発展問題の記述ができる生徒が少なかった (5/18人)。学んだ知識を活用し、考えを結びつけ、表現する力をつけさせる必要がある。

## 9. 主要参考文献

- ・石坂隆至 (2015) 「アクティブラーニングを取り入れた世界史授業 ―情報機器の効果的な活用を通じて―」『平成27年度教育実践研究報告書山梨大学大学院教育学研究科教育実践創成専攻 (教職大学院)』
- ・大分県教育委員会 HP「授業づくりのポイントシリーズ③」  
<http://kyouiku.oita-ed.jp/gimu/>
- ・大橋忠正・野崎純・松井政明 (1996) 『歴史教育の理論と実践―歴史教育法―』現代教育社
- ・デヴィッド・ニコル (2014) 『イスラーム世界歴史地図』明石書店
- ・原田智仁 (1998) 「歴史素材調理の技法」榊山紘一・木下康彦・遠藤紳一郎編『世界史へー新しい歴史像をもとめて―』山川出版社
- ・文科省ホームページ 「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ (素案) のポイント」  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/053/siryo/\\_icsFiles/afieldfile/2016/08/02/1375316\\_1\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/053/siryo/_icsFiles/afieldfile/2016/08/02/1375316_1_1.pdf)
- ・榊山紘一・木下康彦・遠藤紳一郎 (1998) 『世界史へー新しい歴史像をもとめて』山川出版社